

令和 8 年 3 月 13 日  
水管理・国土保全局河川環境課

## 土砂・流木の影響を考慮した浸水想定区域図の作成手法を検討します ～「第 2 回 土砂・流木を考慮した中小河川の水害リスク評価に関する技術検討会」の開催～

令和 6 年 1 月の能登半島地震および令和 6 年 9 月の能登半島豪雨災害を受けて、「能登半島での地震・大雨を踏まえた水害・土砂災害対策検討会」を設置し、令和 7 年 6 月には同検討会から「土砂や流木の影響を見込んだハザードマップの導入など、リスク情報の充実、提供を進めるべき」との提言を頂きました。

この提言を踏まえ、令和 7 年 12 月に、中小河川の浸水想定区域図の作成に必要な土砂・流木の影響による水位上昇や氾濫域を評価する手法等を検討する「土砂・流木を考慮した中小河川の水害リスク評価に関する技術検討会」を設置しており、この度、第 2 回の検討会を 3 月 16 日（月）に開催します。

### 【会議について】

1. 日 時：令和 8 年 3 月 16 日（月）14:00～16:00
  2. 場 所：中央合同庁舎 3 号館 1 階水管理・国土保全局局議室（WEB 併用）
  3. 委 員：別紙のとおり
  4. 議 題：
    - ・ 第 1 回検討会での委員からの御指摘事項への対応等
    - ・ 家屋流失の危険性が高いエリアを評価する手法
  5. 取材等：
    - ・ 会議は非公開で行いますが、報道関係者に限り委員会の冒頭（議事に入るまで）のみ傍聴・カメラ撮影が可能です。
    - ※ご希望の報道関係者の方は、13:45 までに 3 号館 1 階エレベーターホールにお集まりください。
    - ・ 検討会終了後、事務局による記者ブリーフィングを下記のとおり行います。
- <記者ブリーフィング>
- 日 時：令和 8 年 3 月 16 日（月）16:30～
- 場 所：中央合同庁舎 3 号館 1 階水管理・国土保全局局議室 ※カメラ撮影不可

- ・取材をご希望の報道関係者は、3月16日（月）10時までに、以下のとおりメールにてお申し込み下さい。

件名：【取材希望】

本文：氏名（ふりがな）、所属、連絡先（電話、メールアドレス）、  
参加内容（傍聴・カメラ撮り／記者ブリーフィング）

送付先：hqt-drkentou【a】gxb.mlit.go.jp

※【a】を@に変換して送信して下さい。

※取得した個人情報は適切に管理し、必要な用途以外に利用しません。

6. 会議資料及び議事要旨は、後日、国土交通省ウェブサイトに掲載予定です。

[https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/river/mizukokudo04\\_mn\\_000009.html](https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/river/mizukokudo04_mn_000009.html)

**【問い合わせ先】**

水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室 麓、小川

代表 03-5253-8111（内線 35451、35456）、直通 03-5253-8460

土砂・流木を考慮した中小河川の水害リスク評価に関する技術検討会

委員名簿

(有識者)

- ◎ 池内 幸司 東京大学 名誉教授、  
一般財団法人 河川情報センター 理事長
- 内田 太郎 筑波大学 生命環境系 教授
- 加藤 千恵 建設コンサルタンツ協会 河川計画専門委員長
- 呉 修一 富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科 教授
- 小林 健一郎 埼玉大学 理工学研究科 教授
- 佐々木 雅章 岩手県 県土整備部 技術参事兼河川課総括課長
- 水頭 顕治 広島県 土木建築局 河川課長
- 田中 尚人 石川県 土木部 次長兼河川課長
- 中森 健一 福岡県 県土整備部 河川管理課長
- 二瓶 泰雄 東京理科大学 創域理工学部 社会基盤工学科 教授
- 溝口 敦子 名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授

(関係省庁)

- 岡本 勝浩 国土地理院 応用地理部 地理情報処理課長
- 竹下 哲也 国土技術政策総合研究所 河川研究部 水防災システム研究官

(敬称略、五十音順)

◎：座長